

# CIP Newsletter

ニュージーランド出身香取市国際交流員  
花田サミュエル卓也 (サム)

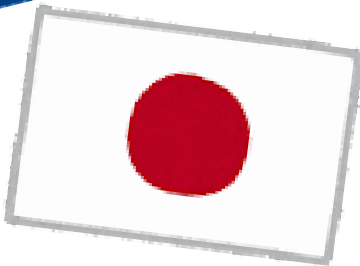
## 海外の日本人

突然ですが、ニュージーランドには多くの日本人が暮らしています。また、日本人が設置したレストラン、日本人のための施設、協会なども沢山あります。今回のニュースレターではニュージーランドにいる日本人について話したいと思います。

交換留学生を除くと、ニュージーランドには約1万8000人の日本人がいて、その内約2500人がクライストチャーチに住んでいます。特に、関西からの日本人が一番多いです。ニュージーランドに移住し、日本料理屋・日本語学校・部活的な協会（剣道、柔道、和太鼓）を開くことが多いです。私の世代だとハーフか日系2世が多いので、そのほとんどがニュージーランドで生まれ育ちました。



クライストチャーチで所属していた太鼓チーム



クライストチャーチのハーフは、8割ぐらいが日本人のお母さんとニュージーランド人のお父さんです。私の場合、父が日本人、母はニュージーランド人です。この組み合わせは割と珍しく、同級生の中で私を含めて3人しかいなかったです。多くのハーフは、お母さんが日本人であるため、日本の名字を持ちませんが、お母さんの名字をミドルネームにする家庭はたくさんあります。また、どちらの国でも使える名前をつける人も多いです。例えば「カイ」や「ハナ」です

私の場合は、日本語と英語の両方の名前を持っています。いつも「何て呼べばいい？」と言われるけど、自分でもよくわからないです。どこにいてもどっちも呼ばれることがあります。海外では「花田」と「卓也」という名前が面白くてあまり聞かないんですが、「サム」が「卓也」より若干言いやすいと思ってる日本人が多いです。

何て呼べばいいかな



両方の文化に育ってきたからこそ、この仕事で、ニュージーランドと日本の架け橋として、お互いの文化や魅力をいろいろな場面で紹介ができるのは貴重だと思います。日本ではニュージーランドのコミュニティーが少なく残念ですが、このニュースレターと他の場面でニュージーランド文化を皆さんに紹介ができるのが嬉しいです。将来、ニュージーランドと他のつながりができることを願っています。



## 最近の活動

数ヶ月前、KOMPASと市役所の企画政策課から、英会話とニュージーランドの文化教室の企画を依頼されました。11月30日に最初のクラスを行いました。大人向けのクラスは何度も作ったことがあります。子ども向けのクラスは初めてでしたので、すごく緊張しました。人数は少なかったですが、自己紹介やニュージーランドの文化など、楽しく話すことができました。次回も楽しみにしています。

11月にJETの関係で、山梨県の甲府市で地域国際化塾に参加しました。甲府市と山梨県の活性化、移住や観光を改善するための取り組み、地方を盛り上げるための様々な方法などについて学びました。このようなセミナーに参加するのは初めてで、山梨県に行くのも初めてでした。一つのプレゼンで、地域のイベントやお祭りが消えてしまわないように、そしてより多くの人に知ってもらえるように、できることなら自分から参加することや他の人に紹介することが大切だと聞きました。今年は佐原の大祭に参加したので、それを聞いて、嬉しかったです。今後も香取のコミュニティーにもっと同化し、地域についてできるだけ多くのことを学んで、より多くの観光客にリーチしたいと思っています。



3日間の感想を発表しました



\*大善寺

甲州で様々な体験をしました

FacebookのLittleEdoSawaraで香取市での生活や観光、ニュージーランドと日本の文化の違いなど多く発信しています。日本語でも文書を書いているので、見ていただけたら嬉しいです。これから他のことも挑戦してみたいと思っているので、英語・企画・お手伝いでも何かあれば、是非3階の商工観光課でお声掛けください!







## 漢字なんて・・・ タイ人から見た日本の文字

年末のイベントの一つに、12月12日(いい字一字)「漢字の日」に清水寺で発表される「今年の漢字」があります。今年の漢字は「税」に決定しました。

この一年間を振り返ると、私の「今年の漢字」は『活』かなと思います。入国制限がなくなり、海外から観光客が自由に日本に来れるようになって、『活気』が戻りました。1月と10月にタイ・バンコクで開催された訪日旅行フェアに参加して、『活躍』出来た一年でした。そして、水郷おみがわ花火大会をはじめ、栗源のふるさと祭など、市内のイベントが『復活』しました。

# 活

漢字2つを組み合わせることでさらに新しい単語が生まれます。なんて便利なことと言いたいところですが、日本語を勉強し始めた頃は、いや、未だに漢字を覚えるのは大変です。

ら あ め ん す き  
な と も け せ ま  
ほ れ む ね か え  
く い る て を み  
あ そ ち り わ う  
え ろ し こ れ き  
ぬ や な ゆ ひ ふ

小さいころから日本のアニメを見たり、日本の漫画を読んだりしてますが、すべてがタイ語に吹き替え・翻訳されたものでした。2007年にタイの日本語学校に通い始め、一回目の授業はひらがなの「あいうえお・・・」の発音し方と書き方を覚えながら、先生が言った挨拶や自己紹介など簡単な文を繰り返すぐらいでした。実は私が初めて日本の文字と触れ合ったのは、ずっとその前です。それは「ファミコン」でした。ゲームを中断したい時は外部メモリーや本体内装メモリーにセーブポイントを保存すればいつでも同じところに再開できる現在のゲーム機と違って、ファミコンのゲームによっては決まったひらがな何文字かを入力してゲームを再開するようなシステムでした。

ひらがなは丸くてかわいいと私を含めそう思っているタイ人は多いと思います。ただし、「ぬ・め」「わ・ね」「い・り」「さ・き」のように似ている文字が何個かあります。書き留めた文字を間違っていたらゲームを再開できません。日本人でさえ書き間違った人がいるのに、日本語を習ったことない外国人(それにまだ小学生)には無理があるでしょう。

そして、毎回の授業に3つの漢字が出されます。ひらがなですらまだ覚えていないのに、漢字も覚えなければなりません。画数が多い漢字もあるし、書き順もあるし、訓読みと音読みもあるし、部首を間違えると意味が変わってしまうし、正直「漢字なんてなくてもいいのに」と思っていました。

そして、毎回の授業に3つの漢字が出されます。ひらがなですらまだ覚えていないのに、漢字も覚えなければなりません。画数が多い漢字もあるし、書き順もあるし、訓読みと音読みもあるし、部首を間違えると意味が変わってしまうし、正直「漢字なんてなくてもいいのに」と思っていました。

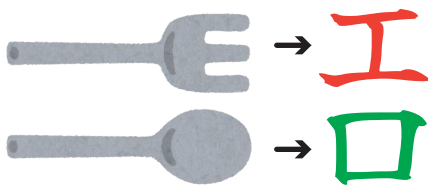
漢字をたくさん覚えるようになると、漢字の便利さを実感しました。読み方は覚えていないが、意味は覚えている漢字があると、その単語、その文の意味がなんとなくわかってしまうことです。



ただし、漢字を覚えることは簡単なことではありませんでした。常用漢字だけで2,136字もあり、日本人は小学生から少しずつ覚えていって、日本語を使っている環境の中で生活しているので、自然と身に付きます。タイではタイ文字を使っているのに、中国や韓国みたいに漢字と触れ合う機会がないです。

# 左右

その上、部首違いで似ている漢字もたくさんあります。それぞれの漢字のポイントを掴んで自分なりに覚えようと思いました。例えば、外国人から見ると「左・右」は下の「工・口」が違うだけで、どれがひだりかどれがみぎかは覚えるのに困りました。字の見ただ目でいうと、なんとなく私は「左」の方がきれいだと思います。そして、私は左利きなので、自分の好きな字は自分の利き手と結びつけて、「左・右」の違いを覚えるようになりました。



利き手とか字の好みなんて個人事情すぎて、他の人に通じません。私は他のタイ人に教える時は、「左の『工』はフォークの歯のように突き出していて、右の『口』はスプーンの皿のように広がる」、そして、フォークは左手で、スプーンは右手で持つので、フォークとスプーンの形で覚えてみてくださいと教えます。

ก ก ก ข ข ค ค ฉ ม พ พ ผ ผ

似ているタイ文字の一部。漢字ほど特徴があまりなく、覚えるしかありません。

漢字を分解して覚える、漢字を絵で覚えるなどは日本人が普通に使っているコツです。これも日本語学校の先生から習いました。はっきり覚えている例は「木の上に乗って見るのが親」です。おかげで「親」と「新」を区別できるようになりました。また、一番印象に残った漢字の覚え方は「儂」でした。先生は「イ+夢 = 人の夢は儂いものだ」と覚え方を教えてくださいました。なんだか切なく感じますが、ステキ！素敵すぎます！



ひらがなはまるくてかわいい。カタカナはカクカクしていかっこいい。漢字は難しくてイヤだー。ではなくて！筆で書く漢字はトメ・ハネ・ハライなど強弱があつてとても美しいです。そして、ひらがなとカタカナが漢字から生まれたこともとても面白い話です。日本の文字自体に高いデザイン性を持っていると感じます。単語をあえてカタカナで書くことや漢字に当て字をつけて違う意味を与えること、字を絵として表すことなど、文字・言葉に対して日本人の表現力は無限だと感じます。外国語を勉強することは、単に言葉を覚えてしゃべることではなく、その国の文化や考え方も習うことができます。今度はタイの文字のことを日本人のみなさんと共有したいと思っています。

それでは、みなさん、今年も色々お世話になりました。  
来年もよろしくお願ひします！

良いお年をお迎えください〜

漢字の「巳」と「キングコブラ」を合わせて作った  
平成25年巳年の年賀状的な絵です。しっぽはタイっぽい装飾柄を入れました。

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換など、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができたらうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

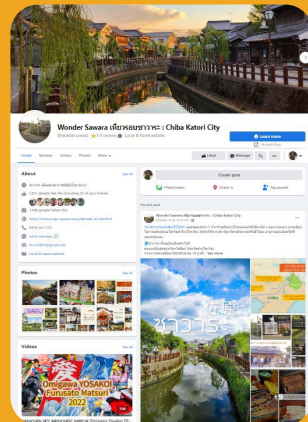
11月12日の「おみがわYOSAKOIふるさとまつり」  
初めてパレードを見ました！  
(動画に入れるのを忘れました・・・)



観福寺の紅葉動画です  
ねこのネズコちゃんもいました



タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ「Wonder Sawara เที่ยวรอบซาวาระ : Chiba Katori City」にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付けるようにするので、ぜひのぞいてみてください～(フォローをしていたただけたらうれしいです！)



FBページ →  
QRコード



または、フェイスブックアプリ  
で「Wonder Sawara」を検索

## プロフェッショナル プライベート モンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展する際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっかけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際交流員として勤めている。

